

はじめてみよう ボランティア

国際協力ボランティア編

世界を見つめ地域に生きる

グローバル世界となり、「共に生きる課題」に取り組む「国際協力」の活動はボランティアから、専門的仕事まで、多種多様にあります。今なお国際的には、貧困、飢餓、紛争、難民、人権、環境問題など地球的な課題が山積みし、NGO(非政府組織・民間国際協力団体)による国際協力・支援の取り組みが増えてきています。ODA(政府開発援助)による大型開発プロジェクトとは異なり、「顔の見える」草の根の国際協力を担っている多くはボランティアです。

どこにいても、誰にでもできる活動です。あなたの関心や興味に応じて始めてみませんか。

(構成・県民ボランティア総合センター運営協議会委員長 角正信)

国内で・・・

開発教育・国際理解教育、NGO 活動の広報(ニュースの編集・発送)・資金活動(バザーや街頭募金など)運営・事務の応援(場所の提供、事務所の補助、会計補助など)、外国人のための通訳、翻訳及び日本語習得支援、海外帰国者の支援、文化の交流など

海外で・・・

発展途上国への援助・支援(保健衛生、教育、開発、環境など)海外 NGO や国連ボランティア(UNV)への参加紛争・災害など難民・被災者への緊急救援(医療・物資・住居など)

知る・学ぶ

関心・興味があれば誰でも

公開講座・セミナー、イベント・チャリティーバザー、国際理解教育、開発教育・地球市民教育、大学・大学院、語学学校・専門学校・海外留学



参加する

一歩踏み出せば、 あなたも生かせる可能性

国際ボランティア、NGO 活動、ワークキャンプ、スタディツアー、青年海外協力隊、シニアボランティア、国連ボランティア



働く・仕事する

専門的に働く

NGO や国際機関、外務省および国際協力事業団、地方自治体、シンクタンク、民間企業、





身近なところから関心を広げ意識を高め実行できること10ヶ条

1. 新聞、テレビ、インターネットなどで国際問題に関心を持ち、話題にする。NGO の集会、セミナー、講座、研究会、報告会などに積極的に参加。

開発教育、地球市民学習、NGO カレッジなど

2. 物品集め:大量でないとも価値がないのでグループなどに呼びかけて集める。各 NGO 団体に集め方、用途など確認することや、活動報告を受けることも大切

使用済み切手集め、カード集め、書き損じハガキ、テレフォンカード、プリペイドカード

3. 物品の送付:特定の NGO 団体を通して。

書籍、教材、教具、衣類、眼鏡、歯ブラシなど。(物品を送るだけでは、現地の受入状況、継続性また運送費などで、問題点や反省が出てきている)

4. 利子・利用費の一部寄付(登録、実績が伴う)

貯金利子:国際ボランティア貯金(郵政省)、クレジットカード:「地球環境カード」(財)水と緑の惑星保全など

5. 募金・カンパ

リスト・コイン(外国コイン・紙幣、日本の小銭)
貯金箱:例えば断食 / Time of Fast(食事を抜いて募金)

6. NGO 団体のボランティアに参加

NGO 福岡ネットワークおよび、その加盟 17 団体、「チャンドラゴーナ会」「ペシャワール会」などの NGO、「地球市民どんたく」福岡国際交流協会など

7. NGO/NPO 団体への会員登録

継続的支援(資金援助、活動参加等)

8. 直接販売・購入に協力

現地製品フェアトレード(手工芸品、農水産品など)の購入

9. 現地ワークキャンプ、スタディツアーへの参加

観光ツアーと異なり、現地の人たちと交流。

10. 職員、スタッフとして勤務

各 NGO 団体は小規模なので就職は大変難しい。ボランティアの中から採用するか、経験者などが就任することが多い。あと、国連機関や外務省とその外郭団体などの職員とか。